≪証券コード:3041≫
東証スタンダード市場

BEAUTY KADAN
ホールディングス

2027年6月期 第1四半期
決算説明会資料

2026年11月18日
株式会社ビューティカダンホールディングス

Agenda

01. 2027年6月期 第1四半期 業績ハイライト

02. セグメント別ハイライト

03. 経営体制の刷新とグループガバナンスの強化

04. 2027年6月期 第1四半期の取り組み

05. 2027年6月期 業績予想

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

01 2027年6月期 第1四半期 業績ハイライト

減収および売上総利益の減少により、営業損失が拡大

（単位：百万円）

	2026/6期 1Q	2027/6期 1Q	前年同期比 増減率	2026/6期 （参考）
売上高	1,771	1,736	▲2.0%	7,302
売上原価	1,636	1,637	+0.1%	6,596
売上総利益	135	98	▲36.9%	706
営業利益	▲82	▲105	—	▲166
経常利益	▲83	▲103	—	▲181
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲88	▲106	—	▲174

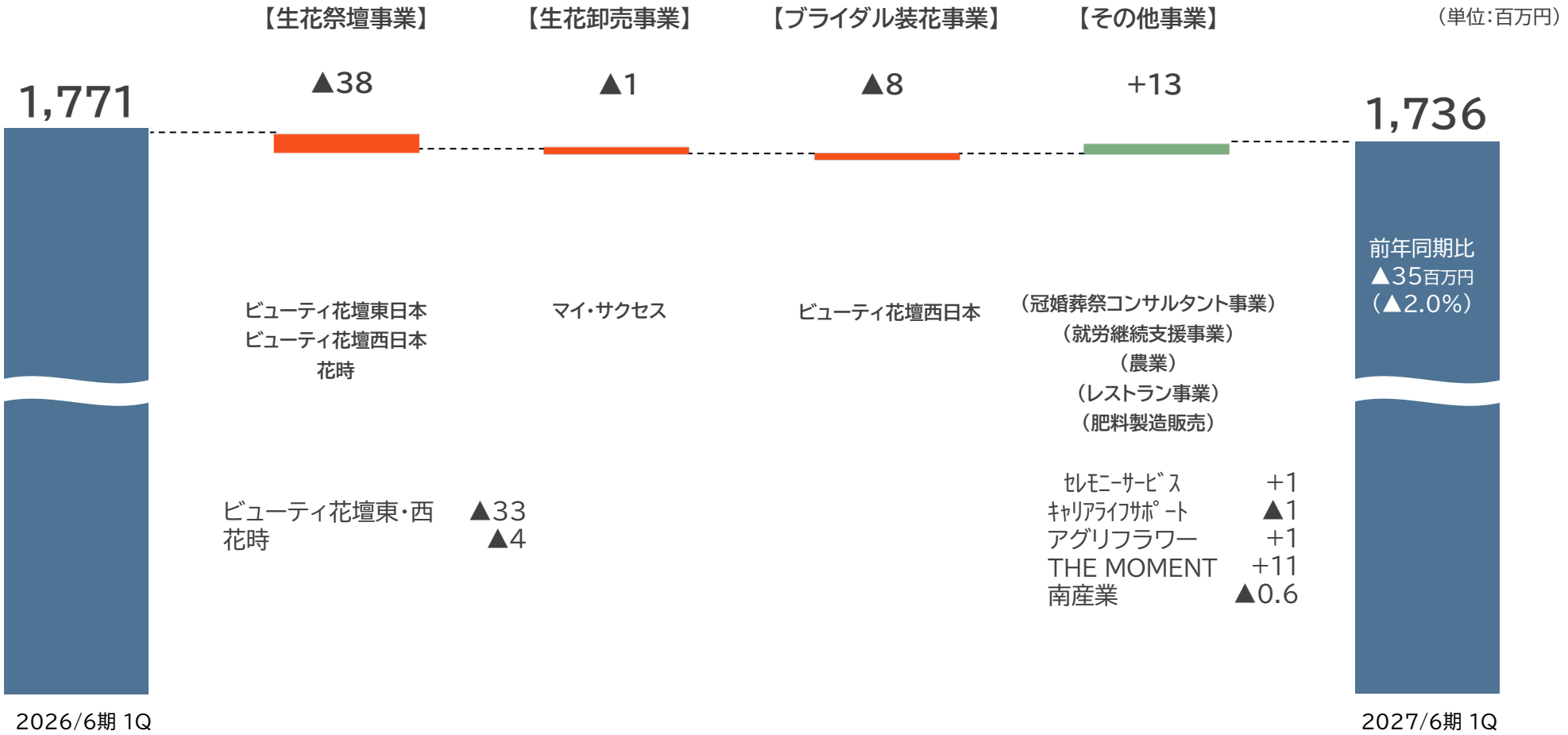
（注）記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

01 2027年6月期 第1四半期 業績ハイライト

≪連結売上高の前期比分析≫

グループ全社では前期比 ▲2.0%(35百万円)の減収



Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

01 2027年6月期 第1四半期 業績ハイライト

≪セグメント別決算概況≫

（単位：百万円）

	2026/6期 1Q		2027/6期 1Q		前期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生花祭壇	974	2	936	▲27	▲3.9%	—
生花卸売	633	1	631	▲6	▲0.3%	—
ブライダル装花	65	▲8	56	▲12	▲13.2%	—
その他	98	▲20	111	▲14	+13.9%	—
調整額	—	▲58	—	▲44	—	—
計	1,771	▲82	1,736	▲105	▲2.0%	—

■生花祭壇事業：供花の取扱数量減少や労務費負担の増加などにより、減収・減益
■生花卸売事業：一部輸入花材の供給不足や販売不振、販売単価の下落などにより、減収・減益
■ブライダル装花事業：ブライダルの一部拠点やリテール事業の売上低迷、人件費負担などにより、減収・営業損失拡大

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

02 セグメント別ハイライト【生花祭壇事業】

生花祭壇事業

	2026/6期 1Q 実績	2027/6期 1Q 実績
売上高	974	936
営業利益	2	▲27

≪売上高≫

・全社 → 前年同期比3.9%減
・ビューティ花壇東日本 → 関東エリアを中心とした供花の取扱数量減少が影響
・ビューティ花壇西日本 → 主要エリアでの売上減少が影響

≪営業利益≫

・売上減少に伴う売上総利益の減少が収益を圧迫
・東日本・西日本ともに労務費負担が重く、収益性が低下

BEAUTY KADAN
Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

02 セグメント別ハイライト【生花卸売事業】

生花卸売事業

	2026/6期 1Q 実績	2027/6期 1Q 実績
売上高	901	868
営業利益	1	▲6

※セグメント間の内部売上高を含む

≪売上高≫

・全体 → 前年同期比3.7%減
・一部輸入花材の供給不足や販売不振による取扱数量の減少
・秋彼岸や葬儀需要の低迷、販売単価の下落などが影響

≪営業利益≫

・販売単価の下落や販売構成の変化による粗利益率の低下
・9月の販売不振と粗利益率低下が収益を圧迫

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

02 セグメント別ハイライト【ブライダル装花事業】

ブライダル装花事業

	2026/6期 1Q 実績	2027/6期 1Q 実績
売上高	65	56
営業利益	▲8	▲12

≪売上高≫

・全体 → 前年同期比13.2%減の減収
・ブライダル → 関西・福岡は堅調に推移するも、熊本では売上が伸び悩む
・リテール → 店舗販売・ECの売上が計画を下回る一方、造園は堅調に推移

≪営業利益≫

・前年同期から営業損失が拡大
・ブライダルの一部拠点における人件費負担や、造園事業の採算悪化が収益を圧迫

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

02 セグメント別ハイライト【その他事業】

その他事業

	2026/6期 1Q 実績	2027/6期 1Q 実績
売上高	98	111
営業利益	▲20	▲14

≪売上高≫

・増収事業
➤ THE MOMENT（新規店舗の売上寄与）

・その他
➤ 南産業（令和8年熊本地震の影響を受けるも、前年同期並み）

㈱セレモニーサービス

冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務

12百万円 ➡ 14百万円

㈱キャリアライフサポート

就労継続支援事業

23百万円 ➡ 22百万円

㈱THE MOMENT

レストラン事業

42百万円 ➡ 53百万円

㈱南産業

肥料製造販売事業

19百万円 ➡ 19百万円

㈱アグリフラワー

農業

0百万円 ➡ 1百万円

BEAUTY KADAN
Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

03 経営体制の刷新とグループガバナンスの強化

➤ 経営責任の明確化

前期業績を踏まえ、2026年8月から2027年6月まで常勤役員の月額報酬を減額。

➤ 内部管理体制の強化

連結子会社で判明した不正行為を受け、現金取扱業務の見直しや複数人による確認体制の整備、本社管理部門によるモニタリング強化など、再発防止に向けた取り組みを推進。

➤ 経営体制の刷新

2026年12月31日付で代表取締役社長および取締役1名が退任予定。2027年1月1日以降は三島まりこが代表取締役社長として経営を統括。

➤ 今後の方向性

既存事業の収益構造改革、グループ経営管理の高度化、次期中期経営計画の策定を推進。

※2026年11月13日までの公表事項を含む

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

04 2027年6月期 収益改善・経営基盤強化に向けた取り組み

➤ 既存事業の収益構造改革

生花祭壇事業の宝塚ユニットおよびブライダル装花事業のホテル日航熊本店について、撤退を決定。経営資源の適正配置と収益性の改善を図る。

➤ グループ全体の業務効率化・標準化

財務経理・総務人事業務を中心に、小口現金管理や経費精算、証憑管理等の業務見直しを検討。電子化・自動化による業務負荷の軽減と、グループ各社への展開を目指す。

➤ 持続的な成長に向けた事業基盤の強化

2027年新卒採用は16名を予定。既存事業との親和性や事業シナジーを重視したM&Aの検討を継続し、事業基盤の強化を図る。

BEAUTY KADAN
Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

05 2027年6月期 業績予想

（単位：百万円）

	2026/6期実績	2027/6期（予想）	前年同期比 増減率
売上高	7,302	7,400	+1.3%
営業利益	▲166	10	―
経常利益	▲181	15	―
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲174	5	―
配当（円　銭）	―	―	―

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

■IRに関するお問合わせ先

経営・IT企画部／経営・IT企画課

★TEL：096-370-0004

★e-mail：ir-info@beauty-kadan.co.jp

★HP：https://www.beauty-kadan.co.jp

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

Copyright © 2026 Beauty Kadan Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.